

「野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信」 ご参考資料 | 2020年2月5日  
Aコース（為替ヘッジあり）/Bコース（為替ヘッジなし）



## 5Gから恩恵を受けるクラウド市場

### ポイント



1. クラウド事業が急拡大
2. 2023年までにクラウド市場は年率21%飛躍（+5Gの恩恵）
3. 注目銘柄：ロク、マイクロソフト、トウイリオ

## 1. クラウド事業が急拡大

### 急拡大するクラウド事業

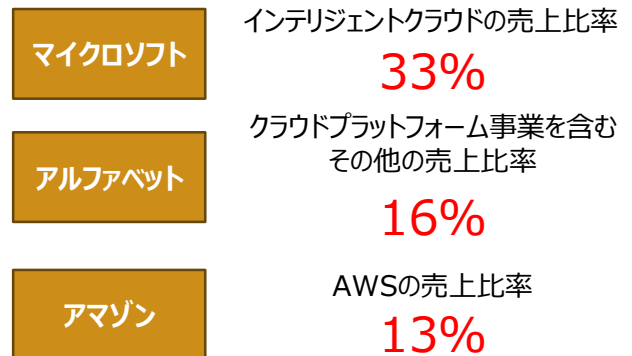
マイクロソフト、アルファベット、アマゾンでは、クラウド事業の業績貢献度が高まっています。2019年7-9月期に、マイクロソフトでは、クラウドサービス「アジュール」の売上が好調で、売上高は前年同期比59%増となりました。また、アルファベット（グーグル）も「クラウドプラットフォーム事業を含むその他」の売上高が同39%増、アマゾンも「AWS（アマゾン・ウェブ・サービス）」の売上高は同35%増と、クラウド事業が急拡大しています。

### 寡占化が進むクラウド市場

クラウド事業を拡大できる企業は限られています。足元のクラウドの市場シェアは、AWS39%、アジュール19%、グーグル・クラウド9%と、大手企業が市場シェアの約7割を握っています。クラウド事業はデータセンターへの多額の先行投資を要する事業であるため、資金力のある大手企業が競争優位な状態が続くと考えられます。また、機能の豊富さや安全性などの観点から、大手企業のクラウドサービスが政府や企業から採用される傾向にあり、他の企業がシェアを広げることが難しくなっています。

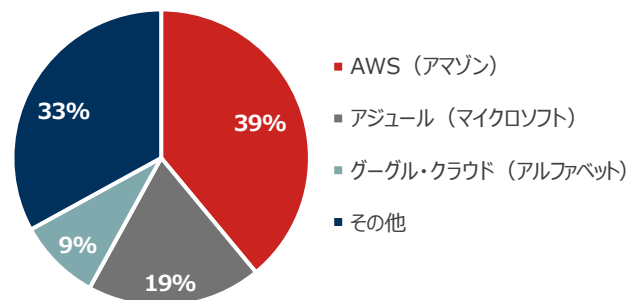
掲載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### 各社の売上に占めるクラウド事業比率



2019年7-9月期の各社決算情報  
(出所) Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

### クラウドの各社市場シェア



2019年第3四半期時点  
(出所) statistaのデータを基に野村アセットマネジメント作成

## 2. 2023年までにクラウド市場は年率21%飛躍（+5Gの恩恵）

### データ量拡大+5Gがクラウド市場をけん引

クラウド関連市場は、今後大きな伸びが予想されています。クラウド・ソフトウェアとクラウド・インフラストラクチャーを合算したクラウド関連市場の規模は、2018年で年間1,870億米ドルに達しています。この市場規模は2023年には年間4,800億米ドルに達すると見られており、年率21%の成長が予想されています。また、このクラウド市場規模は、第5世代通信規格「5G」の影響を前提としない予測であり、5Gが社会に浸透していくにつれて、成長が上振れする可能性があります。

### 当ファンドが投資する分野

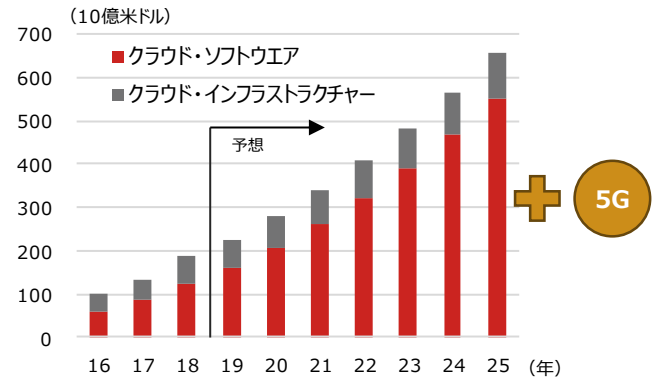
「野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信」（以下、当ファンド）は、クラウド市場の様々な企業群に投資しています。①ロクやフェイスブック、スナップなどの「クラウド・コマース&サービス企業」（eコマースや、SNS、アプリケーションなどのITサービス提供企業）、スクエアやサービスナウ、トゥイリオなどの「クラウド・ソフトウェア企業」（クラウド上でソフトウェアビジネスを展開する企業）、②マイクロソフトやアマゾン、アルファベットなどの「クラウド提供企業」、③オン・セミコンダクターやインテル、アップルなどの「クラウド用インフラ企業」（クラウドのインフラとなる半導体やハードウェア提供企業）に投資しています。

5GやIoT、AIなどの登場、進展により、データ管理としてのクラウドだけではなく、それを支える半導体などのクラウド・インフラへの需要も高まります。また、クラウド環境の広がりにより、クラウド上でビジネスを行なうユニークなソフトウェア企業やアプリケーション提供企業なども多く出てきています。

掲載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご注意事項】を必ずご覧ください。

### クラウド関連市場の市場規模



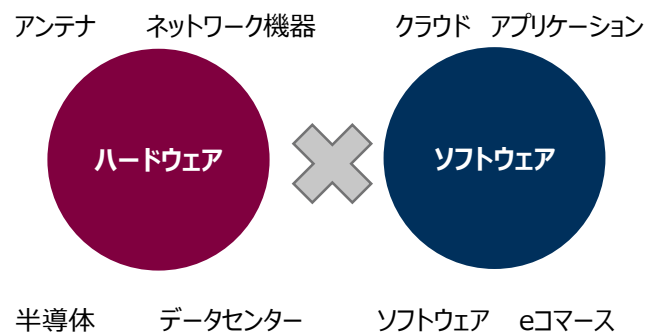
期間：2016年～2025年（2019年以降は2019年9月末時点の予想値）  
 予想値は「クラウド・ソフトウェア」はPiper Jaffray予想、「クラウド・インフラストラクチャー」はIDC予想。  
 （出所）アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパンからの提供情報を基に野村アセットマネジメント作成

### クラウド市場の様々な企業群に投資



上記はイメージ図であり全てを表すものではありません。  
 （出所）アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパンからの提供情報を基に野村アセットマネジメント作成

### 5Gの恩恵を受けるハードウェアとソフトウェア



上記はイメージ図であり全てを表すものではありません。  
 （出所）各種資料から野村アセットマネジメント作成

### 3. 注目銘柄：ロク、マイクロソフト、トウイリオ

#### ロク（クラウド・コマース&サービス企業）

企業概要：米国の動画等ストリーミングプラットフォーム会社

あらゆる動画ストリーミングコンテンツが視聴可能で、高利益体質

グーグル、アップル、アマゾンなどを凌駕して、ストリーミング端末市場シェア1位。ロクのサービスは中立的な立場で、あらゆる動画ストリーミングコンテンツが視聴可能であり、米国では、ケーブルTVからストリーミング配信に乗り換えるという流れが強まっている中、ユーザー数が爆発的な勢いで拡大しています。また、機械学習やAI（人工知能）を活用したターゲット広告を配信しており、広告収入が急速な勢いで成長しています。今後は、米国内での高成長に加え、グローバルにビジネスを展開する方針であり、更なる成長が期待されています。

#### マイクロソフト（クラウド提供企業）

企業概要：米国の大手ソフトウェア会社

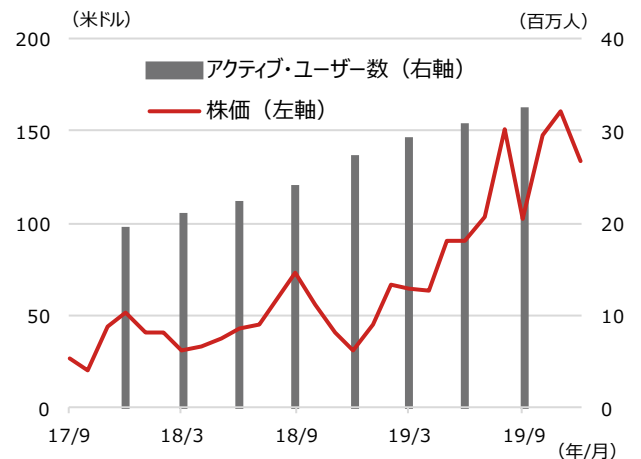
Windowsに固執した古いビジネスモデルから、クラウド事業へ

同社が提供するクラウドサービスの「アジュール」は、既にアマゾンのAWSに次いで世界第2位のシェア。パブリッククラウドの分野において、アジュールのシェアは、2015年の9%から2019年第3四半期で19%まで大きく拡大しています。アジュールは毎四半期50%以上の売上成長を継続しており、世界的にクラウドの活用が進む中、ソフトウェア・サービスの会社へとビジネスモデルの転換を進めることで、世界有数の大企業でありながら高い成長を実現しています。

掲載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

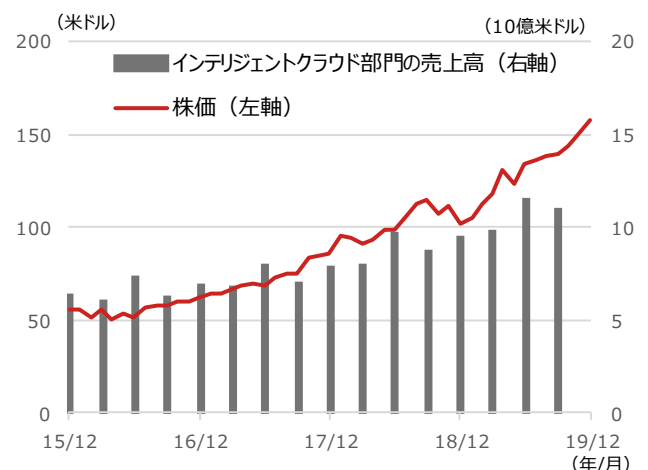
\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご注意事項】を必ずご覧ください。

#### アクティブ・ユーザー数と株価推移



期間：(株価) 2017年9月末(上場日は2017/9/28)～2019年12月末、月次  
(アクティブ・ユーザー数) 2017年12月末～2019年9月末、四半期  
(出所) アリオンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパンからの提供情報、Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

#### インテリジェントクラウド部門の売上高と株価推移



期間：(株価) 2015年12月末～2019年12月末、月次  
(売上高) 2015年10-12月期～2019年7-9月期、四半期  
(出所) アリオンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパンからの提供情報、Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

## トウイリオ（クラウド・ソフトウェア企業）

企業概要：米国のコミュニケーション・プラットフォーム提供会社

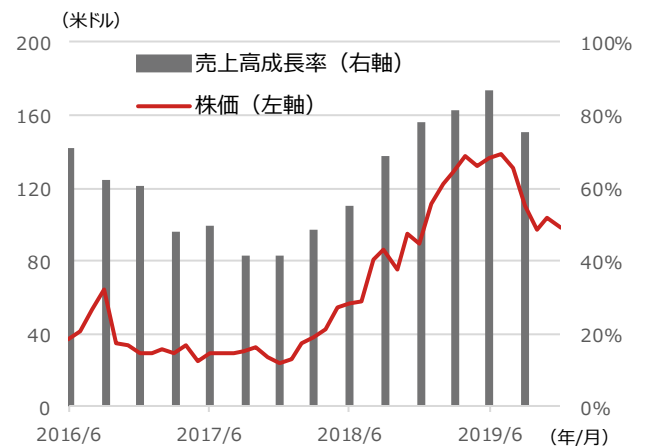
### 多くの企業が採用し、売上急成長

消費者とのコミュニケーションを円滑、効率的にするためのツールとして、ショートメッセージング(SMS/チャット)やビデオなどのコミュニケーション手段を顧客自身の既存アプリケーションやプロダクトに組み込むサービスを提供しています。例えば、タクシー配車のウーバーでは、同社のツールによりドライバーと利用者のコミュニケーションが容易になるなど、顧客とのより緊密でリアルタイムの意思疎通を可能にするアプリケーションを構築している企業の間で導入が増加しています。

### IT大型株と中小型株の融合

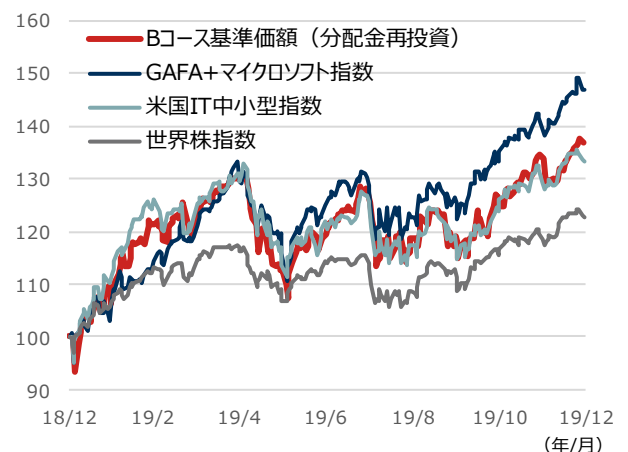
当ファンドでは、いわゆるGAFA（ガーファ：グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾンを示す）やマイクロソフトなどの超大型株に投資している一方、ロクヤトウイリオ、サービスナウなどの中小型の高成長株にも積極的に投資しています。近年、アマゾンがクラウドサービス強化のためデータ分析企業を買収するなど、GAFAやマイクロソフトは、成長著しい新興IT企業を買収することにより、高成長を維持し、株価も持続的に上昇しています。一方、クラウドの進展により、ユニークなビジネスモデルで高成長し、株価が大きく上昇している中小型株も数多くあります。この超大型株と、経験豊富な運用チームが厳選した中小型株の両方に投資することにより、当ファンドは高いリターンのご提供に繋がっていると考えています。

### 売上高成長率と株価推移



期間：(株価) 2016年6月末(上場日は2016/6/23)～2019年12月末、月次  
(売上高成長率) 2016年4-6月期～2019年7-9月期、四半期  
(出所) アリオンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパンからの提供情報、Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

### 2019年のパフォーマンス比較



期間：2018年12月31日（基準価額は12月28日）～2019年12月31日、日次それぞれ期首を100として指数化  
使用した指数については、5ページをご参照ください。各指数は、当ファンドのベンチマークではありません。  
基準価額（分配金再投資）については、6ページをご参照ください。  
(出所) アリオンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパンからの提供情報等を基に野村アセットマネジメント作成

掲載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

<当資料で使用した指数について>

GAFAM+マイクロソフト指数：Solactive GAFAM AR指数（円換算ベース）

米国IT中小型指数：ラッセル2000テクノロジー株指数（円換算ベース）

世界株指数：MSCI ACWI指数（円換算ベース）

<当資料で使用した指数の著作権等について>

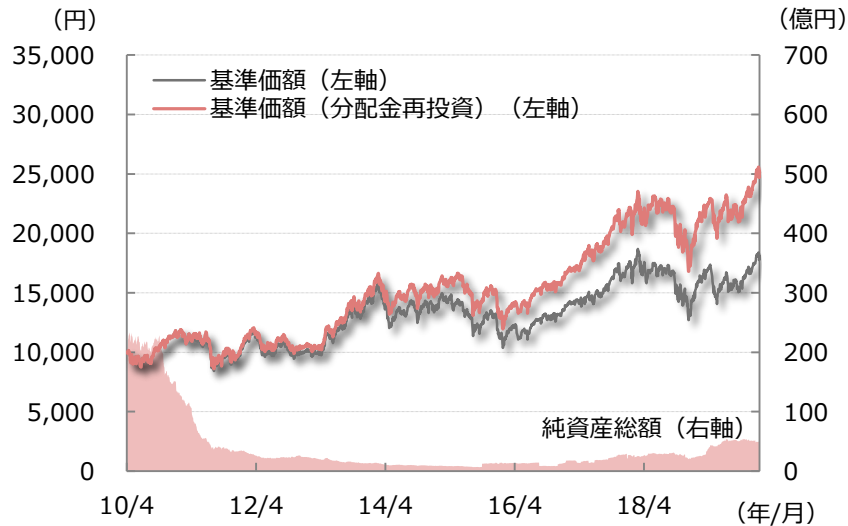
●Solactiveは、Solactive AGの登録商標です。●MSCI ACWI指数はMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●ラッセル2000テクノロジー株指数は、バンク・ラッセル・カンパニーの所有する登録商標です。

野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信  
Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

## ファンドの運用状況

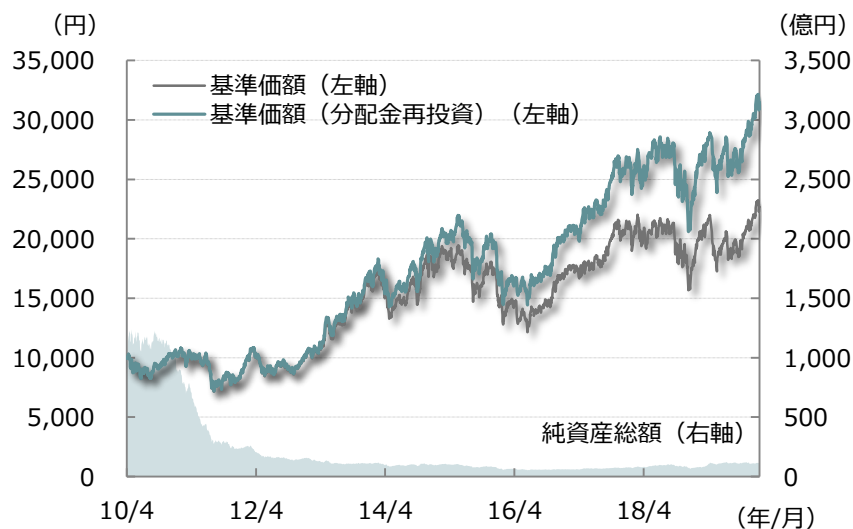
### <Aコース> 基準価額の推移

期間：2010年4月16日（設定日）～2020年1月30日、日次



### <Bコース> 基準価額の推移

期間：2010年4月16日（設定日）～2020年1月30日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———



野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信  
Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

## 【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を実質的な主要投資対象\*とします。  
\*「実質的な主要投資対象」とは、「野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ・ファンドにおいて「クラウドコンピューティング」とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する形態のことをいいます。  
ファンドにおいて「クラウドコンピューティング関連企業」とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。
  - ・ファンドにおいて「スマートグリッド」とは、情報技術等を活かして構築され、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する次世代電力インフラのことをいいます。  
ファンドにおいて「スマートグリッド関連企業」とは、スマートグリッド構築にあたって、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する、通信・制御システムを提供する企業や、送配電網関連機器や電力貯蔵装置等を製造する企業等をいいます。
- 株式への投資にあたっては、独自のボトムアップリサーチにより各銘柄にレーティングを付与し、投資候補銘柄を選別します。  
各銘柄のレーティングに加え、株価の割安度、流動性等を勘案し、クラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株式への投資配分にも配慮した上で、ポートフォリオを構築します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、以下の委託先に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

委託先名称	委託先所在地
Allianz Global Investors U.S. LLC (アリアンツ・グローバル・インベスターズ・US・エル・エル・シー)	米国 カリフォルニア州 サンフランシスコ市
Allianz Global Investors GmbH (アリアンツ・グローバル・インベスターズGmbH)	ドイツ連邦共和国 フランクフルト市
Allianz Global Investors Asia Pacific Limited (アリアンツ・グローバル・インベスターズ・アジア・パシフィック・リミテッド)	中華人民共和国 香港

- 原則、毎年4月27日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
分配金額は、分配対象額の範囲内で基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。  
\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信  
Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

## 【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

### 【お申込メモ】

- 信託期間 2025年4月28日まで(2010年4月16日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則4月27日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)  
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨーク証券取引所 ・フランクフルト証券取引所  
・ニューヨークの銀行 ・フランクフルトの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### 【当ファンドに係る費用】

(2020年2月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.947%(税抜年1.77%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時・スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

### ◀分配金に関する留意点▶

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

### ◆お申込みは **野村証券**

商号:野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人金融先物取引業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

### ◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時~午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>





**【当資料について】**

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

**【お申込みに際してのご留意事項】**

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。